

## 宮城県行財政運営・改革方針（第1期）【素案】における骨子からの変更点

素案

骨子

構成	骨子からの主な変更点	構成
はじめに 1 位置づけ 2 計画期間 3 宮城県の行財政運営の考え方 (1) 行財政運営上の現状と課題 (2) 宮城県庁のあるべき姿 4 第1期における取組の方向性 (1) 目標 (2) 課題 (3) 取組 5 進行管理 6 具体的取組	・「はじめに」及び「具体的取組」の項目を追加しました。	1 位置づけ 2 計画期間 3 宮城県の行財政運営の考え方 (1) 宮城県を取り巻く現状と課題 (2) 宮城県庁のあるべき姿 4 取組の方向性 (1) 目標 (2) 課題と取組 (3) 取組の柱 (4) 取組項目（テーマ）（例） 5 進行管理・評価方法

はじめに	骨子からの修正事項	
(概要) 本県は、東日本大震災から10年という節目を迎え、人口減少、大規模化・多様化する自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大といった時代の転換点に直面しています。こうした時代の変化に的確に対応し、県民サービスの維持・向上を図るため、財政や組織、業務プロセスなど行財政運営のあり方を見直し、不断の行財政改革に取り組みます。	・行財政運営のあり方と行財政改革の必要性について記載しました。 ・宮城県庁のあるべき姿に記載していた「職員の心得」を整理統合しました。	

1 位置づけ	骨子からの修正事項	1 位置づけ
新・宮城の将来ビジョンに基づく政策・施策の着実な推進を行財政面から下支えするために、県の行財政運営に関する考え方や取組の方向性を示すものです。		新・宮城の将来ビジョンに基づく政策・施策の着実な推進を行財政面から下支えするために、県の行財政運営に関する考え方や取組の方向性を示すものです。

2 計画期間	骨子からの修正事項	2 計画期間
令和3年度～令和6年度（4か年） ※第2期（3か年），第3期（3か年）	・1期を4か年，2期，3期を3か年とします。	令和3年度～令和6年度（4か年）

3 宮城県の実行財政運営の考え方	骨子からの修正事項	3 宮城県の実行財政運営の考え方
<p><b>●実行財政運営上の現状と課題</b></p> <p><b>【現状】</b> (概要) 復興完了に向けたきめ細かなサポートの継続が必要である一方、人口減少などの社会変化や新型コロナウイルス感染症による影響に対応していく必要があります。こうした中、県民サービスの向上を図るため効率的・効果的な実行財政運営に取り組んできましたが、一部業務の職員不足や行政のデジタル化が十分とは言えない状況を踏まえ、新ビジョンに掲げる宮城の将来像の実現に向けて着実に実行財政運営の取組を進めて行く必要があります。</p> <p><b>【これからの課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化への対応</li> <li>・実行財政運営の基盤強化</li> <li>・デジタルトランスフォーメーションの推進</li> <li>・震災の経験・教訓の活用</li> </ul>	<p>・実行財政運営上の現状と課題を整理し、分けて記載しました。</p> <p>・課題に「デジタルトランスフォーメーションの推進」を追加しました。</p> <p>→新たな時代に対応したデジタルトランスフォーメーションの動きが加速しており、また、「新たな日常」にも対応した行政サービスのあり方など組織体制や環境整備に取り組んでいく必要があります。</p>	<p><b>●宮城県を取り巻く現状と課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化への対応</li> <li>・実行財政運営の基盤強化</li> <li>・震災からの早期復興と経験・教訓の活用</li> </ul>
<p><b>●宮城県庁のあるべき姿</b> <b>変化に適応し、信頼される宮城県庁</b> <b>～富県躍進を支える持続可能な実行財政運営～</b> (基本方向)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自らイノベーションを生み出す組織</li> <li>②多様な主体との協働により、先見性のある実行財政運営</li> <li>③県政の公平性・透明性を確保し、職員が元気で活躍できる県庁</li> </ol>	<p>・主題は、宮城県庁のあるべき姿として、常に県民から信頼される宮城県庁であること、そのために社会の変化に遅れることなく的確に対応することを示しました。</p> <p>・副題は、本方針が新ビジョンの下支えであることから「富県躍進を支える～」としました。</p> <p>・3つの基本方向へ導くものとして、実行財政運営における多様な主体との連携の重要性等を記載しました。</p>	<p><b>●宮城県庁のあるべき姿</b> <b>信頼と誇りの宮城県庁</b> <b>～明るい未来をつくる持続可能な実行財政運営～</b> (基本方向)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自らイノベーションを生み出す組織</li> <li>②多様な主体との協働により、合理的で先見性のある実行財政運営</li> <li>③県政の公平性・透明性を確保し、職員が元気で躍進できる県庁</li> </ol> <p>(職員の心得)</p>
4 第1期における取組の方向性	骨子からの修正事項	4 取組の方向性
<p><b>●目標</b> 持続可能な実行財政運営に向けて、財政基盤と組織体制を強化するとともに、DXを通じて業務そのものやプロセスの変革を進めます。</p>	<p>・行政のデジタル化に関する目標を見直しました。</p>	<p><b>●目標</b> 持続可能な実行財政運営に向けて、財政基盤と組織体制の強化及びICT活用の基盤を確立</p>

4 第1期における取組の方向性	骨子からの修正事項	4 取組の方向性
<p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入減少と財政の硬直化 →取組の柱 1</li> <li>・行政のデジタル化 →取組の柱 2</li> <li>・大規模災害等への備え →取組の柱 4</li> <li>・職員の年齢構成や勤務環境の変化 →取組の柱 2, 3</li> </ul>	<p>・別紙のとおり取組の柱とテーマを見直しました。</p> <p>・方向性を整理し、取組の柱ごとに視点を記載しました。</p> <p>(方向性)</p> <p>全庁一丸となって対応できる仕組みづくり →柱 1 の視点へ</p> <p>時代の変化に対応する行財政運営 →柱 3 の視点へ</p> <p>「時間を確保」する働き方改革 →柱 2 の視点へ</p> <p>目標達成に向けて必要な実行力と予算 →柱 1 の視点へ、進行管理の考え方へ</p>	<p>●課題と取組</p> <p>◎課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歳入減少と財政の硬直化</li> <li>・行政のデジタル化</li> <li>・大規模災害等への備え</li> <li>・職員の年齢構成や勤務環境の変化</li> </ul> <p>◎方向性 (左記へ記載)</p>
<p>●取組</p> <p><b>柱 1 財政基盤と組織体制の強化</b></p> <p>【視 点】 目標達成に向けて必要な実行力と予算</p> <p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政基盤の強化</li> <li>・組織体制の整備</li> <li>・多様な主体との連携</li> </ul>		<p>◎取組</p> <p><b>柱 1 財政基盤と組織体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政の健全化</li> <li>・組織の見直し</li> <li>・民間協働の推進</li> <li>・災害対応と震災の経験の継承</li> </ul>
<p><b>柱 2 ICT活用と働き方改革の推進</b></p> <p>【視 点】 質の高い業務遂行と働き方改革</p> <p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT利活用による効率的な行政サービスの推進</li> <li>・働き方改革の推進</li> </ul>		<p><b>柱 2 働き方改革とICT活用の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性の向上</li> <li>・柔軟な働き方の推進</li> <li>・行政事務のICT活用</li> <li>・合理的な行政サービス</li> </ul>
<p><b>柱 3 人材育成とコンプライアンスの徹底</b></p> <p>【視 点】 時代の変化に対応する行財政運営</p> <p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の育成</li> <li>・コンプライアンスの徹底</li> <li>・透明性と信頼の確保</li> </ul>		<p><b>柱 3 職員力の向上とコンプライアンスの徹底</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成</li> <li>・組織の総合力向上</li> <li>・コンプライアンス</li> <li>・透明性と信頼の向上</li> </ul>
<p><b>柱 4 危機対応と震災の経験の継承</b></p> <p>【視 点】 復興完遂と危機対応力の強化</p> <p>※テーマなし</p>		

素案

骨子

5 進行管理	骨子からの修正事項	5 進行管理・評価方法
<p>実行力と実効性を確保していくため、宮城県行政経営推進委員会の意見を踏まえ、宮城県行政改革推進本部で評価を行い、P D C Aサイクルにより、継続的な改善を図りながら計画を着実に推進していきます。</p> <p>具体的取組は毎年度進行管理を行い必要に応じて内容を見直します。</p>		<p>取組の実施状況と目標達成状況について、宮城県行政経営推進委員会の意見を踏まえ、宮城県行政改革推進本部で評価を行い、P D C Aサイクルにより、継続的な改善を図りながら計画を着実に推進していきます。</p>
6 具体的取組	骨子からの修正事項	
<p>27取組</p> <p>※具体的取組については、予算も踏まえ今後調製します。</p>	<p>・各課から提出された具体的取組について、現時点の掲載案を記載しました。</p>	

●取組の柱とテーマ

(別紙)

骨子



素案

1 財政基盤と組織体制の強化	
1-1 財政の健全化	
1-2 組織の見直し	
1-3 民間協働の推進	
1-4 災害対応と震災の経験の継承	柱立て（特別枠）
1-5 市町村支援	1-3と統合
2 働き方改革とICT活用の促進	
2-1 生産性の向上	2-2と統合
2-2 柔軟な働き方の推進	
2-3 行政事務のICT活用	順番入替
2-4 効率的な行政サービスの推進	2-3と統合
3 職員力の向上とコンプライアンスの徹底	
3-1 人材育成	
3-2 コンプライアンス	
3-3 透明性と信頼の向上	

1 財政基盤と組織体制の強化
1-1 財政基盤の強化
1-2 組織体制の整備
1-3 多様な主体との連携
2 ICT活用と働き方改革の推進
2-1 ICT利活用による効率的な行政サービスの推進
2-2 働き方改革の推進
3 人材育成とコンプライアンスの徹底
3-1 人材の育成
3-2 コンプライアンスの徹底
3-3 透明性と信頼の確保
4 危機対応と震災の経験の継承
テーマなし